



2024年7月29日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 文明
(コード: 2162 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
(TEL: 03-5333-1711 (代表))

**営業外収益（為替差益）の計上および
2025年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2025年3月期第1四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）において、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月15日公表の2025年3月期第2四半期累計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第1四半期連結累計期間において、為替差益485百万円を計上する見込みです。これは主に海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等によるものです。

2. 2025年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,000	百万円 500	百万円 250	百万円 100	円 銭 6.43
今回修正予想 (B)	37,000	900	1,600	1,300	83.64
増減額 (B-A)	2,000	400	1,350	1,200	
増減率 (%)	5.7	80.0	540.0	1200.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期累計)	36,274	498	889	560	36.03

3. 修正の理由

2025年3月期第2四半期連結累計期間は、各国の金利政策やこれによる為替の変動など、不透明な経済環境が続く様相ですが、前期から続いていた在庫調整による影響が緩和傾向となったことに加え、需要動向は改善を見せており、円安による効果やこれまで実行してきたコスト構造改革や基盤強化策の定着効果もあり、全体として業績は堅調に推移する見通しです。

また、想定を上回る円安の進行により、当第1四半期連結累計期間において、為替差益485百万円を計上する見込みであり、第2四半期連結会計期間においてもこの動向は続くものと見ております。

これらにより、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも、前回発表予想を上回る見込みであり、利益については、営業利益の増加に加え、為替差益の計上等により、経常利益、中間純利益とも、前年同期対比で大幅増益となる見込みです。

下期についても、計画に対し需要は堅調に推移するものと見ておりますが、世界経済の動向や為替変動による影響を現時点で見定めることが難しいことから、2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）連結業績予想の見直しを行っておりません。

現時点で各事業とも堅調に推移しておりますが、今後の動向がより明確に見通せるようになった段階で見直しを行い、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。